



# コンピュータ組立てキット

[解説 V1.1]

## 要約

コンピュータ上でペーパークラフトを組み立てることの出来るキットです。ジグソーパズルの要領で進めます。見た目の方向を好きなように設定できるので、自分なりの「どや顔」を作りましょう。

亀泳堂

[kiei.dou.honnpo@gmail.com](mailto:kiei.dou.honnpo@gmail.com)

はじめに	2
コンピュータ組立てキットの概要	2
コンピュータ組立ての開始	2
【VBA マクロの有効化】	3
【組立てツールの起動】	4
【組立てツールの機能と使い方】	5
コンピュータ組立て	5

## はじめに

亀泳堂では、「Excel で作るペーパークラフト」の設計図を基にして、コンピュータ上でペーパークラフトと同様に対象を組み立てることの出来る「コンピュータ組立てキット」を開発しました。

実際に物を作るのには根気と忍耐・スキルが大切で、しばらくコツコツと努力する必要がありますが、まー、趣味なのでそれが楽しいのだと言うことですね。そうは言っても、もう少し手軽に楽しめないかなと言う方に向けて、「パワーポイント」の上でコンピュータペーパークラフトを楽しめるキットです。

でもねー、コンピュータのスキルはある程度必要になります。「パワーポイント」って何？という方には、こっちの方が分からないということになりますが、コンピュータが得意な方も多いので、そういう方は挑戦してみてください。

## コンピュータ組立てキットの概要

「コンピュータ組立てキット」では、ある対象を組み立てるために必要な「部品」がパワーポイントの図形として提供されます。ペーパークラフトで言うと、切り取って組立ててゆくための展開図に相当するものですね。コンピュータ組立てでは、提供されたパワーポイントの「部品」を、ドラック＆ドロップしながら組立ててゆきます。その際に、完成させる対象の見え方の角度を決めて（任意にできます）部品を回転させて組立ててゆきます。「コンピュータ組立てキット」は、そのための「組立てツール」も提供します。

ジグソーパズルを作成する感覚で、コツコツと進めてゆくと、おー、素晴らしいペーパークラフトがコンピュータ上に完成します。対象の見え方の角度を変えて、幾つでも組立てることができます。おー、素晴らしいですね。

なにー、何いつているかわからない、という方も、練習用のキットを解説付きで提供しますので頑張ってみてください。でも、コンピュータは全く知らない、パワーポイントの動かしたなんて知らないという方は、興味が有ったら市販の書物やインターネットで勉強してみてください。あっ、そもそもインターネットの使い方も覚えなければ・・・。

## コンピュータ組立ての開始

まずは、提供された「組立てキット説明と練習：亀泳堂」ファイルを開いて（ダブルクリック）キットを動かして、さっそく組立てを開始・・・、ちょっと待ってください。

一応必要なものがあります。「Windows10 の動くコンピュータ」とその上で動く「マイクロソフト Office2013 のパワーポイント」が最低必要です。キットは Windows10 とマイクロソフト Office2013 で作ったのでそれ以外で動くかは分かりません。あまり古い Windows や Office では動かないかもしれませんが、そんなに難しい機能は使っていないので動くかも、やってみてください。

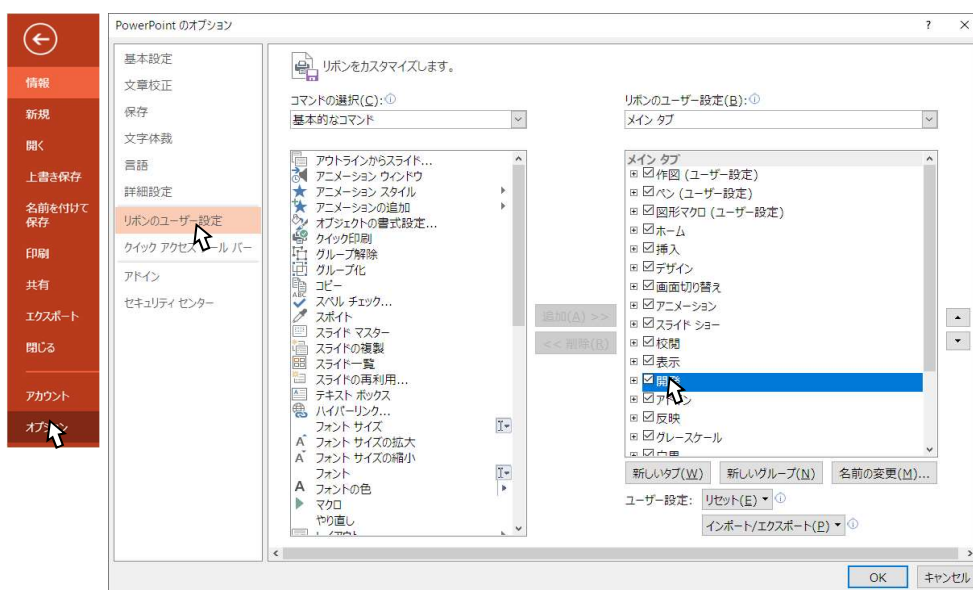
さて、キットを動かして組み立てを開始・・・、まだです。提供する「組立てツール」は、パワーポイントのビジュアルベーシック（VBA と言います）という物のマクロで作っているので、そのマクロが動くようにパワーポイントを設定する必要があります。なに、一、そんなの分からない！ 次に説明しますので我慢して進めてください。なお、この方法は「組立てキット説明と練習：亀泳堂」にも書いてあるのでそれもみましょう（というか、次の説明はその資料そのものですが）。

## 【VBA マクロの有効化】

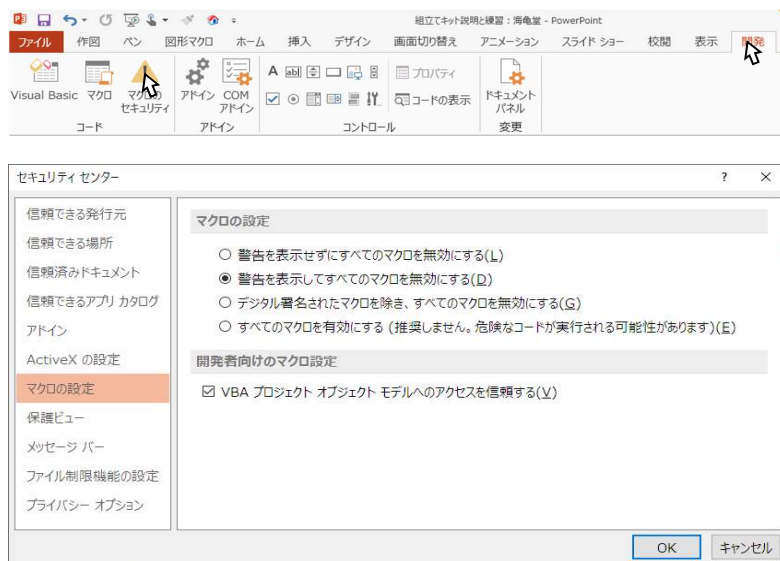
- ・ 初めに、パワーポイントの設定で、VBA マクロを有効にしておきます。
- ・ 練習用の「組立てキット説明と練習：亀泳堂」ファイルをクリックして立ち上げます。ここで、セキュリティの警告が出た場合は、コンテンツの有効化をクリックしてマクロを有効にします。怪しいマクロではないので安心してください。



- ・ 「ファイル」-「オプション」-「リボンのユーザー設定」を選択して、「開発」にチェックを入れます。リボンに「開発」タブが追加されます。



- ・ 「開発」タブを開いて「マクロのセキュリティ」をクリックします。
- ・ ここで、「警告を表示してすべてのマクロを無効にする(D)」が選択されているかチェックします。されていなければ選択します。
- ・ なお、「コンピュータ組立てキット」のファイルを保存するときは、マクロ付きファイルの識別子「.pptm」で保存してください(もともとそうになっていますが)。



## 【組立てツールの起動】

「組立てツール」の起動は、開発タブから次のように行います。

- ・ 「開発」タブを開いて「マクロ」をクリックします。
- ・ 出てきたマクロ画面で、「組立てツール」を選択して「実行」をクリックすると「組立てツール」が起動して画面が出てきます



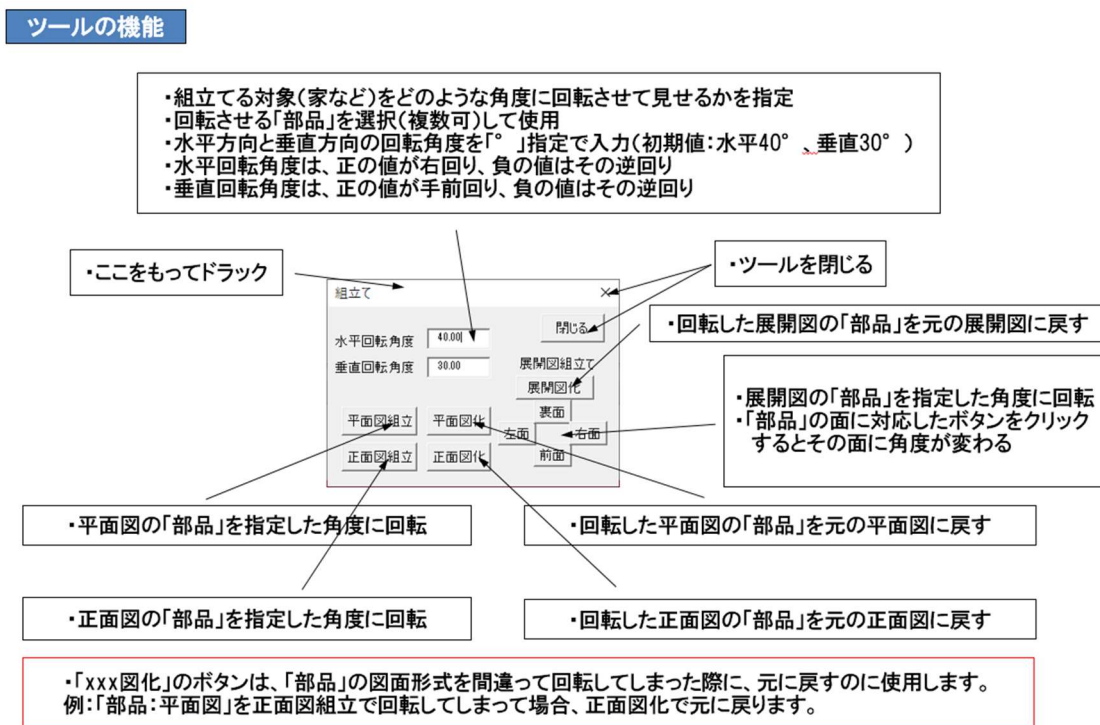
ツールの起動は、本当はこっちの方が便利なので、興味のある方のためにちょっと余計な事を書いておきます。なに一、そんなの興味ない、方は読むのを飛ばしてください。マクロは、標準モジュール「組立てツール」という名前で、フォーム「Form 組立て」を起動します。ツールを使えるようにするには、パワーポイントの「クイックアクセスツールバー」か「リボン」に起動ボタンを登録して、ボタンのクリックで起動する方法もあります。他にも、作画した図形に、クリックでマクロを起動する設定が出来るのですが、どうもうまく動かないのでこれらは放っておいています。少しは動くのですが別のファイルに

なると起動しないとか、ちゃんと動きません。どなたかちゃんと動かす方法が分かったら教えてください。

### 【組立てツールの機能と使い方】

最後に、「組立てツール」の使い方を説明しておきます。「組立てツール」は、完成品の見え方の角度に合わせて、組立てる「部品」を回転させるものです。見え方の角度は任意に設定できます。「組立てツール」を起動すると、ポップアップでフォームが出てきます。何を言っているか分からない？ やってみてください。きっと分かります。

「部品」は、「平面図」型、「正面図」型、「展開図」型の3種類の図形で提供されます。「組立てツール」には、それぞれの型専用のボタンが付いています。「部品」を選択してボタンを押すと「部品」が設定した角度に回転します。「部品」をみんな同じ角度で回転する場合、複数の「部品」を同時に選択して使うことができます。それぞれのボタンは次のようになっています。



### コンピュータ組立て

さて、「部品」をドラッグ&ドロップしてどんどん組立てましょう。説明はこれで終わりです。えーっ、分らんじゃないかー。そうですね。どうしましょう。やってみるしかないですね。「組立てキット説明と練習：亀泳堂」に例題もつけてやり方を描いたつもりですので、挑戦してみてください。

あっとその前に、キットのファイルはバックアップを取っておくことをお勧めします。そ

れと、「部品」を組み立てるときには、キットの部品のページから組立てシートのページにコピー&ペーストして進めてください。「部品」をドラックする時に変なところを掴むと、「部品」が変形して使い物にならなくなります。えー、そんなに難しいの？いやいや難しくありませんよ。コンピュータに慣れている人にとってはどうって言うことはありません。全く慣れてないのだけれどー。だいじょうぶですよー。すぐに慣れます。

さあ始めましょう(\*^^)v

以上です